

平成 30 年度事業計画

平成 30 年度は、会員サービスの充実に努めると共に、より一層のマグネシウム産業成長のための安全作業対策、普及事業、需要増加・市場拡大の基盤となる資源の安定供給・用途開発・人材育成を実現するため、以下の事業活動の推進に努める。

事業計画 1. 日本マグネシウム協会会員拡充及び会員サービスの充実に関する活動

実施内容①：会員向け情報配信の充実

- ・ホームページ、機関誌、メールマガジン「マグネシウム通信」の内容充実。
- ・IMA News 等の海外情報提供の充実。

実施内容②：会員相互交流の活発化

- ・新年会員懇談会、通常総会会員懇談会、会員情報交流会（年 2 回）等の実施。

実施内容③：会員企業の技術研究開発支援

- ・会員企業が実施する公的な技術研究開発に対する支援の実施。

実施内容④：会員の増加対策

- ・HP、電子メール、報道、展示会等を活用した協会の PR 活動の促進。
- ・支部（九州）における技術研究、技術交流活動の実施。

事業計画 2. マグネシウム市場開拓・技術開発に関する活動

実施内容①：輸送機器分野、新規分野等へのマグネシウム合金適用へ向けた技術開発

- ・自動車部品へのマグネシウム適用拡大のための検討（自動車マグネシウム適用拡大委員会、自動車 Mg 展伸材適用検討委員会）。
- ・鉄道車両の大型部材マグネシウム化実現のための検討（マグネシウム合金高速車両構体実用化技術委員会）。
- ・マグネシウム電池普及のための検討（新規）。
- ・医療分野、エネルギー関連分野等へのマグネシウム実用化のための調査。

実施内容②：製錬技術の研究及びリサイクルシステムの構築、LCA データの普及

- ・マグネシウムの供給安定化に向けた対応策の検討と提言（地金原料部会）。
- ・マグネシウム製錬技術の研究開発（新規）。
- ・マグネシウムのリサイクルに関する技術開発調査（新規）。

実施内容③：マグネシウムの溶接技術開発と普及（新規）

- ・マグネシウムに関する溶接技術の普及に関する事業及び溶融溶接の技術調査（新規：マグネシウム溶接技術普及協議会）。

実施内容④：材料・鋳造・成形・切削・接合・表面処理に関する調査研究および基礎データの収集・整備

- ・暴露試験結果の取りまとめと結果の公表（表面処理分科会）。
- ・接合に関する課題抽出、基礎データの整備等の実施（接合技術分科会）。
- ・安全切削等に関する調査、技術開発等の実施（切削分科会）。
- ・マグネシウム火災の消火方法に関する調査（消火器開発委員会）。
- ・各技術分科会等で研究課題の抽出及び調査の実施。

実施内容⑤：マグネシウム産業界の指針となる産業ビジョン、技術ロードマップの維持及び更新

- ・若手を主体としたマグネシウム産業界のビジョン等の検討（将来ビジョン検討会）。

事業計画 3. 環境問題・安全対策などに対する対応

実施内容①：安全作業の啓蒙

- ・安全作業のマニュアル整備、事故例調査、講習会等による安全指導の実施。
- ・労働安全企業の表彰、認定制度の実施。
- ・新たなマグネシウム用消火器の検討（消火器開発委員会）。

実施内容②：難燃性マグネシウム材料の汎用化

- ・難燃性合金による素材開発・加工条件の確立及び標準化の検討。
- ・燃焼性のデータ整備の検討（燃焼 WG）。

実施内容③：SF₆ガス削減対策と代替カバーガス普及の促推

- ・防燃ガス使用量調査による実態把握。

事業計画4. 規格・標準化の整備に関する活動

実施内容①：国内審議団体としてISO規格へ対応

- ・マグネシウムに関するISO国内審議委員会を運営。
- ・日本提案規格のISO化への対応（水銀分析法、すず分析方法、ベリリウム分析法、酸素分析法）。
- ・その他の各種提案への対応（ISO3116（展伸材）、ISO8287（純マグネシウム）、ISO26202（犠牲陽極材）など）。
- ・ISO/TC79及びISO/TC79/SC5国際会議への出席（10月ポルトガル開催）。

実施内容②：JIS及びISO規格制定・改正への対応

- ・改訂版JIS、JIS H 4202「マグネシウム合金継目無管」、JIS H 4203「マグネシウム合金棒と線」、JIS H 4204「マグネシウム合金押出形材」の発刊。
- ・JIS H 4205「マグネシウム合金鍛造品」の改正原案作成（展伸材JIS規格原案作成委員会）。
- ・マグネシウム合金中の希土類元素（Y、Gd、Ce）分析方法のISO規格原案作成の検討（希土類元素分析方法標準化委員会：省エネルギー等国際標準開発事業）。
- ・ステンレス協会と連携し、腐食関連のISOを扱うISO/TC156/WG2・WG6への対応。

実施内容③：標準試験版の普及

- ・従来のダイカスト試験板に加え圧延板材の普及を検討。
- ・日本分析化学会と連携し、認証標準物質の作成。

事業計画5. マグネシウムの普及に関する活動

実施内容①：国内外の各種情報の把握と発信

- ・各種統計調査結果、製品開発情報、新研究情報等の収集及び整備。

実施内容②：各種講演会・講習会の開催と内容の充実

- ・基礎から実用例までの技術講演会、安全作業に関する講習会等の実施。

実施内容③：各種展示会への出展

- ・高機能金属展への出展（5月大阪、12月東京）。
- ・経済産業省こどもデーへの出展（8月経済産業省）

実施内容④：各地域で実施されているマグネシウムに関する研究調査に協力

（東北マグネシウム研究会、熊本マグネシウム事業推進会、先端マグネシウム合金研究会、高性能Mg合金創成加工研究会、軽金属学会、地域中核企業創出・支援事業、（一社）マグネシウム循環社会推進協議会、他）

実施内容⑤：非鉄金属関連団体で運営する人材育成ホームページ「メタルワンダーアベニュー」の維持

事業計画6. 海外との交流に関する活動

実施内容①：国際マグネシウム協会(IMA)、中国マグネシウム協会(CMA)との交流・共同事業の推進

- ・IMA、CMAからの海外情報入手及び発信。

実施内容②：国際会議への参加

- ・IMA国際会議、ISO/TC79国際会議等の国際会議に参加し、海外との交流を図る。

実施内容③：海外実態調査の実施

- ・欧米、東アジアにおける実態調査の実施。（委託事業などにより調査員の派遣にて実施。）

実施計画7. 表彰奨励

実施内容①：安全作業表彰の実施

実施内容②：日本マグネシウム協会賞の表彰

実施内容③：奨励事業の推進（学生マグネシウムデザインコンテスト、齋藤マグネシウム学生奨学金）

以上